

# 大阪市の推計人口年報（令和3年）

～令和3年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

令和4年3月

大 阪 市

# 目 次

1	人	口	総	数	1	
2	男	女	別	人	口	1
3	世	帯		数	2	
4	区	別	人	口	2	
5	区	別	世	帯	数	5
6	人	口	異	動	7	
7	年	齢	別	人	口	12

## 《利用上の注意》

### ・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料では、令和元年以前については国勢調査結果により遡及して修正した推計人口を、令和2年は令和2年国勢調査結果を、令和3年は令和2年国勢調査結果に基づく推計人口を用いた。

### ・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

### ・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。本資料では、令和元年以前については国勢調査結果により遡及して修正した年齢別推計人口を、令和2年は令和2年国勢調査結果を、令和3年は令和2年国勢調査結果に基づく年齢別推計人口を用いた。

## 1 人口総数

令和3年10月1日の大阪市の人口は275万835人で、前年（令和2年10月1日）と比べると1577人（0.1%）の減少となった。

表1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成23年	2,668,972	3,658	0.1
24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
<b>27年</b>	<b>2,691,185</b>	<b>11,377</b>	<b>0.4</b>
28年	2,702,316	11,131	0.4
29年	2,713,725	11,409	0.4
30年	2,725,855	12,130	0.4
令和元年	2,741,336	15,481	0.6
<b>2年</b>	<b>2,752,412</b>	<b>11,076</b>	<b>0.4</b>
3年	2,750,835	△ 1,577	△ 0.1

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

## 2 男女別人口

令和3年の人口を男女別にみると、男性が132万4466人、女性が142万6369人となっている。

男女別の人口を令和2年と比べると、男性が2409人（0.2%）減、女性が832人（0.1%）増であった。人口性比（女性100人に対する男性の数）は92.9となっている。

表2 男女別人口の推移

年次	男（人）			女（人）			性比
	人口	増減数（人）	増減率（%）	人口	増減数（人）	増減率（%）	
平成23年	1,294,751	953	0.1	1,374,221	2,705	0.2	94.2
24年	1,296,740	1,989	0.2	1,377,414	3,193	0.2	94.1
25年	1,297,931	1,191	0.1	1,380,732	3,318	0.2	94.0
26年	1,297,452	△ 479	△ 0.0	1,382,356	1,624	0.1	93.9
<b>27年</b>	<b>1,302,562</b>	<b>5,110</b>	<b>0.4</b>	<b>1,388,623</b>	<b>6,267</b>	<b>0.5</b>	<b>93.8</b>
28年	1,307,086	4,524	0.3	1,395,230	6,607	0.5	93.7
29年	1,311,137	4,051	0.3	1,402,588	7,358	0.5	93.5
30年	1,315,517	4,380	0.3	1,410,338	7,750	0.6	93.3
令和元年	1,321,926	6,409	0.5	1,419,410	9,072	0.6	93.1
<b>2年</b>	<b>1,326,875</b>	<b>4,949</b>	<b>0.4</b>	<b>1,425,537</b>	<b>6,127</b>	<b>0.4</b>	<b>93.1</b>
3年	1,324,466	△ 2,409	△ 0.2	1,426,369	832	0.1	92.9

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

### 3 世帯数

令和3年の世帯数は148万3413世帯であり、令和2年と比べると、1万3695世帯(0.9%)の増加となっている。

1世帯当たり人員は減少傾向にあり、令和2年の1.87人からさらに減少し、令和3年では1.85人となった。

表3 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数(世帯)		1世帯当たり 人員(人)
		増減数(世帯)	増減率(%)	
平成23年	1,324,740	6,750	0.5	2.01
24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99
<b>27年</b>	<b>1,354,793</b>	<b>9,738</b>	<b>0.7</b>	<b>1.99</b>
28年	1,375,843	21,050	1.6	1.96
29年	1,397,243	21,400	1.6	1.94
30年	1,419,499	22,256	1.6	1.92
令和元年	1,446,298	26,799	1.9	1.90
<b>2年</b>	<b>1,469,718</b>	<b>23,420</b>	<b>1.6</b>	<b>1.87</b>
3年	1,483,413	13,695	0.9	1.85

太字は国勢調査結果による世帯数。その他は各年10月1日現在の推計人口による世帯数。

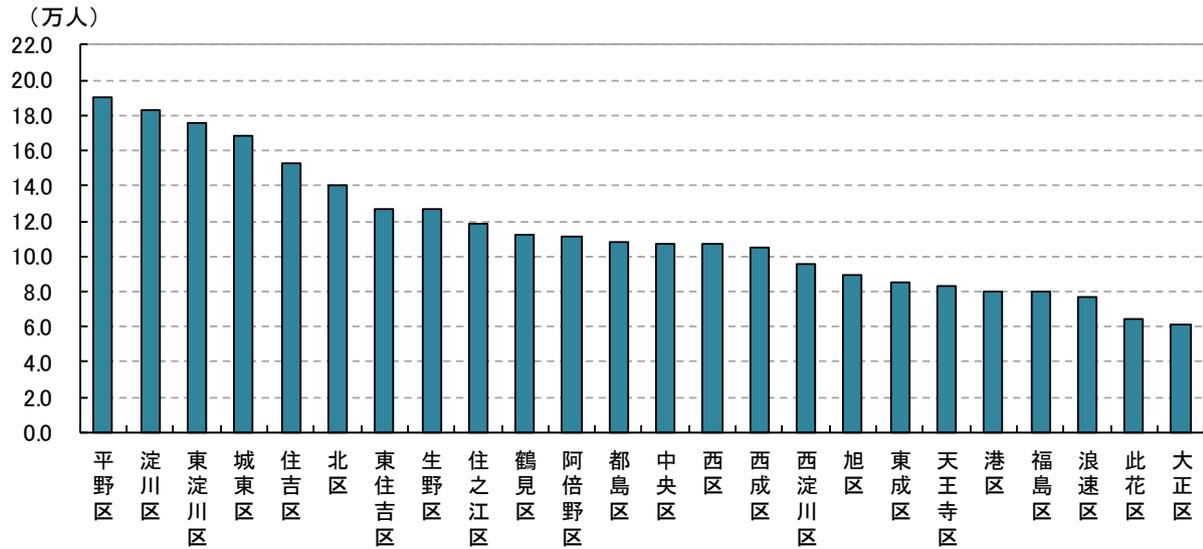
### 4 区別人口

令和3年の人口を区別にみると、平野区が19万166人と最も多く、次いで淀川区が18万3450人、東淀川区が17万6039人、城東区が16万8762人、住吉区が15万2472人と続いている。

この1年間の人口増減数を区別にみると、中央区が3278人と最も多く、次いで浪速区が1359人、北区が1330人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、平野区が1986人減と最も少なく、次いで住之江区が1340人減、東淀川区が1081人減、港区が970人減、大正区が727人減と続いている。

人口増減率は中央区が3.2%と最も高く、次いで浪速区が1.8%、天王寺区が1.1%など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、港区と大正区が1.2%減と最も低く、次いで住之江区が1.1%減、平野区が1.0%減、此花区が0.7%減、西成区、東淀川区が0.6%減と続いている。

図1 区別の人口



令和3年10月1日現在推計人口による。

表4-1 区別人口

区名	人口 (人)		対前年 (令和2年)	
	令和3年	令和2年	増減数 (人)	増減率 (%)
大阪市	2,750,835	2,752,412	△ 1,577	△ 0.1
北区	140,706	139,376	1,330	1.0
都島区	107,838	107,904	△ 66	△ 0.1
福島区	79,844	79,328	516	0.7
此花区	64,764	65,251	△ 487	△ 0.7
中央区	107,004	103,726	3,278	3.2
西区	106,917	105,862	1,055	1.0
港区	79,978	80,948	△ 970	△ 1.2
大正区	61,356	62,083	△ 727	△ 1.2
天王寺区	83,087	82,148	939	1.1
浪速区	76,863	75,504	1,359	1.8
西淀川区	95,572	95,864	△ 292	△ 0.3
淀川区	183,450	183,444	6	0.0
東淀川区	176,039	177,120	△ 1,081	△ 0.6
東成区	85,175	84,906	269	0.3
生野区	126,664	127,309	△ 645	△ 0.5
旭区	89,208	89,670	△ 462	△ 0.5
城東区	168,762	169,043	△ 281	△ 0.2
鶴見区	112,219	112,691	△ 472	△ 0.4
阿倍野区	111,296	110,995	301	0.3
住之江区	118,732	120,072	△ 1,340	△ 1.1
住吉区	152,472	153,056	△ 584	△ 0.4
東住吉区	127,277	127,849	△ 572	△ 0.4
平野区	190,166	192,152	△ 1,986	△ 1.0
西成区	105,446	106,111	△ 665	△ 0.6

令和2年は国勢調査結果。令和3年は10月1日現在推計人口。

表4-2 人口増減数（上位7区）

順位	平成30年～令和元年		令和元年～令和2年		令和2年～令和3年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	北区	3,204	中央区	3,129	中央区	3,278
2	西区	2,507	北区	2,936	浪速区	1,359
3	中央区	2,476	西区	2,288	北区	1,330
4	浪速区	1,712	福島区	1,840	西区	1,055
5	福島区	1,703	淀川区	1,698	天王寺区	939
6	天王寺区	1,660	天王寺区	1,197	福島区	516
7	阿倍野区	1,308	東住吉区	965	阿倍野区	301

表4-3 人口増減数（下位7区）

順位	平成30年～令和元年		令和元年～令和2年		令和2年～令和3年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西成区	△ 1,440	平野区	△ 1,638	平野区	△ 1,986
2	大正区	△ 839	西成区	△ 1,011	住之江区	△ 1,340
3	住之江区	△ 677	生野区	△ 979	東淀川区	△ 1,081
4	此花区	△ 611	住之江区	△ 922	港区	△ 970
5	旭区	△ 467	大正区	△ 706	大正区	△ 727
6	平野区	△ 428	住吉区	△ 410	西成区	△ 665
7	港区	△ 230	此花区	△ 281	生野区	△ 645

表4-4 人口増減率（上位7区）

順位	平成30年～令和元年		令和元年～令和2年		令和2年～令和3年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	中央区	2.5	中央区	3.1	中央区	3.2
2	西区	2.5	福島区	2.4	浪速区	1.8
3	北区	2.4	西区	2.2	天王寺区	1.1
4	浪速区	2.3	北区	2.2	西区	1.0
5	福島区	2.2	天王寺区	1.5	北区	1.0
6	天王寺区	2.1	浪速区	1.2	福島区	0.7
7	阿倍野区	1.2	淀川区	0.9	東成区	0.3

表4-5 人口増減率（下位7区）

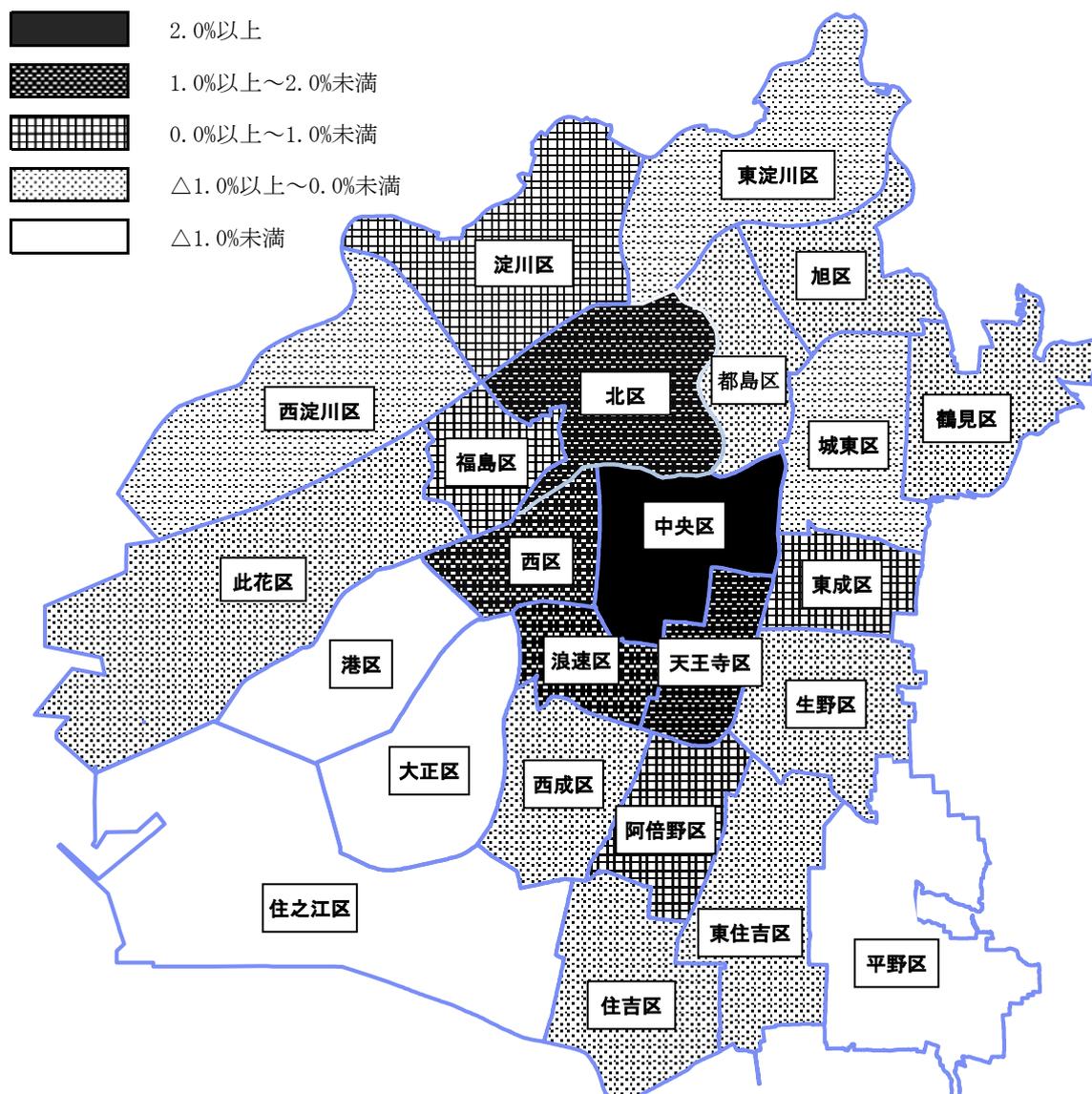
順位	平成30年～令和元年		令和元年～令和2年		令和2年～令和3年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	西成区	△ 1.3	大正区	△ 1.1	港区	△ 1.2
2	大正区	△ 1.3	西成区	△ 0.9	大正区	△ 1.2
3	此花区	△ 0.9	平野区	△ 0.8	住之江区	△ 1.1
4	住之江区	△ 0.6	生野区	△ 0.8	平野区	△ 1.0
5	旭区	△ 0.5	住之江区	△ 0.8	此花区	△ 0.7
6	港区	△ 0.3	此花区	△ 0.4	西成区	△ 0.6
7	平野区	△ 0.2	旭区	△ 0.3	東淀川区	△ 0.6

1 平成30年・令和元年は令和2年国勢調査結果により修正された10月1日現在の推計人口。

2 令和2年は国勢調査による人口。

3 令和3年は令和2年国勢調査結果に基づいて算出した10月1日現在の推計人口。

図2 区別人口増減率の分布（令和2年～令和3年）



## 5 区別世帯数

令和3年の世帯数を区別にみると、淀川区が10万4978世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万9974世帯、平野区が9万2962世帯、北区が8万7002世帯、城東区が8万3182世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の2万9904世帯で、次いで此花区が3万2302世帯、港区が4万2525世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、中央区が2590世帯と最も多く、次いで浪速区が1595世帯、西区が1345世帯、北区が1217世帯と続いており、全24区のうち21区で増加となっている。

世帯数の増減率では、中央区が3.9%と最も高く、次いで浪速区が3.0%、西区が2.1%、天王寺区が1.9%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.28人と最も多く、次いで阿倍野区が2.06人、大正区及び平野区が2.05人、西淀川区及び東住吉区が2.04人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.40人であり、次いで中央区が1.53人、西成区が1.59人、北区が1.62人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数 (世帯)		対前年 (令和2年)		1世帯当たり 人員 (人)
	令和3年	令和2年	増減数 (世帯)	増減率 (%)	令和3年
大阪市	1,483,413	1,469,718	13,695	0.9	1.85
北区	87,002	85,785	1,217	1.4	1.62
都島区	57,504	56,944	560	1.0	1.88
福島区	43,242	42,631	611	1.4	1.85
此花区	32,302	32,318	△16	△0.0	2.00
中央区	69,729	67,139	2,590	3.9	1.53
西区	65,219	63,874	1,345	2.1	1.64
港区	42,525	42,612	△87	△0.2	1.88
大正区	29,904	29,859	45	0.2	2.05
天王寺区	42,966	42,163	803	1.9	1.93
浪速区	54,892	53,297	1,595	3.0	1.40
西淀川区	46,756	46,266	490	1.1	2.04
淀川区	104,978	104,193	785	0.8	1.75
東淀川区	99,974	99,699	275	0.3	1.76
東成区	46,261	45,487	774	1.7	1.84
生野区	68,138	67,616	522	0.8	1.86
旭区	45,412	45,303	109	0.2	1.96
城東区	83,182	82,712	470	0.6	2.03
鶴見区	49,187	48,884	303	0.6	2.28
阿倍野区	54,053	53,649	404	0.8	2.06
住之江区	59,903	59,913	△10	△0.0	1.98
住吉区	78,554	78,098	456	0.6	1.94
東住吉区	62,351	62,025	326	0.5	2.04
平野区	92,962	92,872	90	0.1	2.05
西成区	66,417	66,379	38	0.1	1.59

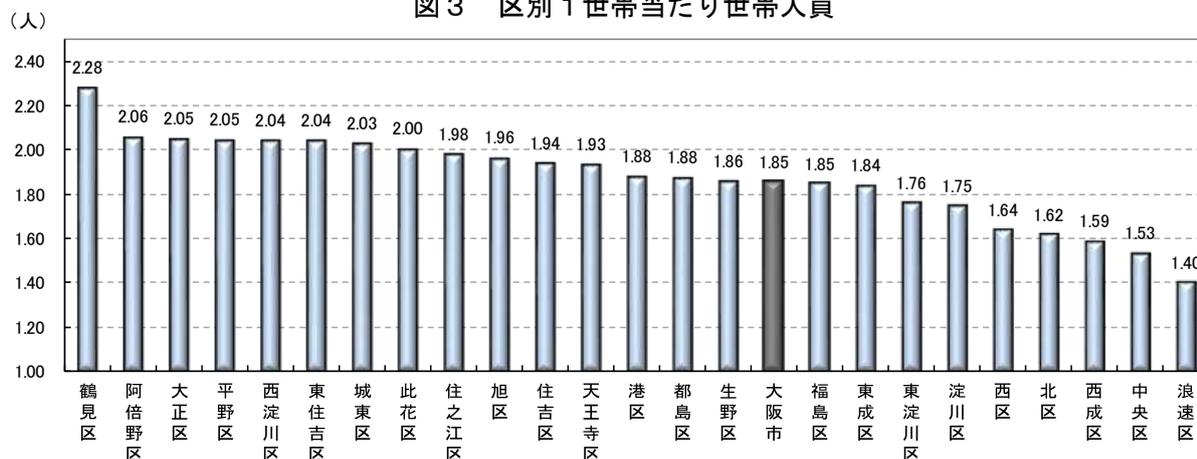
- 1 令和2年は国勢調査による世帯数。
- 2 令和3年は10月1日現在推計人口による世帯数。

表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員 (上位・下位5区)

世帯数 (世帯)				1世帯当たり世帯人員 (人)			
上位5区		下位5区		上位5区		下位5区	
淀川区	104,978	大正区	29,904	鶴見区	2.28	浪速区	1.40
東淀川区	99,974	此花区	32,302	阿倍野区	2.06	中央区	1.53
平野区	92,962	港区	42,525	大正区	2.05	西成区	1.59
北区	87,002	天王寺区	42,966	平野区	2.05	北区	1.62
城東区	83,182	福島区	43,242	西淀川区	2.04	西区	1.64

令和3年10月1日現在推計人口による。

図3 区別1世帯当たり世帯人員



令和3年10月1日現在推計人口による。

## 6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

### (1) 自然動態

令和 3 年の自然動態（出生と死亡の差）は 1 万 2186 人の減少となり、令和 2 年の自然動態（9414 人減）と比べると、減少幅は 2772 人拡大した。また、自然増減率は 4.4%減となっている。

自然増減数を区別にみると、中央区が 369 人と最も多く、次いで西区が 284 人、北区が 188 人、福島区が 182 人など 5 区で増加となっている一方、西成区が 2451 人減と最も少なく、次いで平野区が 1330 人減、生野区が 1132 人減、東住吉区が 961 人減と続いている。

自然増減率では、中央区が 3.6%と最も高く、次いで西区が 2.7%、福島区が 2.3%、天王寺区が 1.4%と続いている一方、西成区が 23.1%減と最も低く、次いで生野区が 8.9%減、大正区が 8.7%減と続いている。

#### ア 出生

令和 3 年の出生数は 2 万 363 人で、令和 2 年（2 万 1003 人）と比べると 640 人の減少となり、出生率は 7.4%（前年 7.7%）となっている。

出生数を区別にみると、淀川区が 1423 人と最も多く、次いで城東区が 1360 人、北区が 1271 人、平野区が 1264 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 328 人である。

出生率では、福島区が 10.1%と最も高く、次いで中央区が 9.9%、西区、北区及び天王寺区が 9.1%と続いている。最も低い区は西成区の 3.9%である。

#### イ 死亡

令和 3 年の死亡数は 3 万 2549 人で、令和 2 年（3 万 417 人）と比べると 2132 人の増加となり、死亡率は 11.8%となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2868 人と最も多く、次いで平野区が 2594 人、東淀川区が 2089 人、生野区が 2003 人と続いている。死亡数が最も少ない区は福島区の 622 人である。

死亡率では、西成区が 27.0%と最も高く、次いで生野区が 15.7%、東住吉区が 14.9%と続いている。最も低い区は中央区の 6.4%となっている。

#### ウ 外国人の自然動態

令和 3 年の自然動態のうち、外国人は 147 人の減少となり、令和 2 年の自然動態（194 人減）と比べると、減少幅は 47 人縮少した。

外国人の出生数は 869 人で、令和 2 年（792 人）と比べると 77 人の増加となっており、死亡数は 1016 人で、令和 2 年（986 人）と比べると 30 人の増加となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1
令和元年	△ 8,853	△ 573	△ 3.2	21,315	△ 590	7.8	30,168	△ 17	11.1
2年	△ 9,414	△ 561	△ 3.4	21,003	△ 312	7.7	30,417	249	11.1
3年	△ 12,186	△ 2,772	△ 4.4	20,363	△ 640	7.4	32,549	2,132	11.8

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。
- 3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 12,186	△ 4.4	20,363	7.4	32,549	11.8
北 区	188	1.3	1,271	9.1	1,083	7.8
都 島 区	△ 402	△ 3.7	759	7.0	1,161	10.8
福 島 区	182	2.3	804	10.1	622	7.8
此 花 区	△ 415	△ 6.4	377	5.8	792	12.1
中 央 区	369	3.6	1,029	9.9	660	6.4
西 区	284	2.7	966	9.1	682	6.4
港 区	△ 541	△ 6.7	484	6.0	1,025	12.7
大 正 区	△ 542	△ 8.7	328	5.3	870	14.0
天 王 寺 区	111	1.4	744	9.1	633	7.7
浪 速 区	△ 160	△ 2.1	555	7.4	715	9.5
西 淀 川 区	△ 373	△ 3.9	679	7.1	1,052	11.0
淀 川 区	△ 308	△ 1.7	1,423	7.8	1,731	9.4
東 淀 川 区	△ 888	△ 5.0	1,201	6.8	2,089	11.8
東 成 区	△ 390	△ 4.6	630	7.4	1,020	12.0
生 野 区	△ 1,132	△ 8.9	871	6.8	2,003	15.7
旭 区	△ 720	△ 8.0	606	6.8	1,326	14.8
城 東 区	△ 480	△ 2.8	1,360	8.0	1,840	10.9
鶴 見 区	△ 164	△ 1.5	1,018	9.0	1,182	10.5
阿 倍 野 区	△ 337	△ 3.0	853	7.7	1,190	10.7
住 之 江 区	△ 933	△ 7.8	654	5.4	1,587	13.2
住 吉 区	△ 793	△ 5.2	1,122	7.3	1,915	12.5
東 住 吉 区	△ 961	△ 7.5	948	7.4	1,909	14.9
平 野 区	△ 1,330	△ 6.9	1,264	6.6	2,594	13.5
西 成 区	△ 2,451	△ 23.1	417	3.9	2,868	27.0

- 1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	中央区	3.6	福島区	10.1	西成区	27.0
2	西区	2.7	中央区	9.9	生野区	15.7
3	福島区	2.3	西区	9.1	東住吉区	14.9
4	天王寺区	1.4	北区	9.1	旭区	14.8
5	北区	1.3	天王寺区	9.1	大正区	14.0
6	鶴見区	△ 1.5	鶴見区	9.0	平野区	13.5
7	淀川区	△ 1.7	城東区	8.0	住之江区	13.2

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減		出生		死亡	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成23年	△ 502	△ 29	496	30	998	59
24年	△ 327	175	537	41	864	△ 134
25年	△ 415	△ 88	531	△ 6	946	82
26年	△ 366	49	574	43	940	△ 6
27年	△ 437	△ 71	539	△ 35	976	36
28年	△ 298	139	604	65	902	△ 74
29年	△ 279	19	644	40	923	21
30年	△ 353	△ 74	649	5	1,002	79
令和元年	△ 241	112	738	89	979	△ 23
2年	△ 194	47	792	54	986	7
<b>3年</b>	<b>△ 147</b>	<b>47</b>	<b>869</b>	<b>77</b>	<b>1,016</b>	<b>30</b>

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

## （2）社会動態

令和3年の社会動態（転入と転出の差）は1万609人の増加となった。また、社会増減率は3.9‰となっている。

社会増減数を区別にみると、中央区が2909人と最も多く、次いで西成区が1786人、浪速区が1519人、北区が1142人、天王寺区が828人など17区で増加となっている一方、平野区が656人減と最も少なく、次いで港区が429人減と続いている。

社会増減率では、中央区が28.0‰と最も高く、次いで浪速区が20.1‰、西成区が16.8‰、天王寺区が10.1‰、北区が8.2‰など、市域中心部で高くなっている一方、港区が5.3‰減で最も低く、平野区が3.4‰減と続いている。

### ア 転入

令和3年の転入数は19万9117人で、転入率は72.3‰となっている。

転入数を区別にみると、中央区が1万6170人と最も多く、次いで淀川区が1万4476人、北区が1万4181人、浪速区が1万2153人、東淀川区が1万1940人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2446人となっている。

転入率では、浪速区が161.0‰と最も高く、次いで中央区が155.9‰、西区が107.1‰、北区が101.7‰と続いている。転入率でも、大正区が39.4‰と最も低くなっている。

## イ 転出

令和3年の転出数は18万6443人で、転出率は67.7%となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が1万4057人と最も多く、次いで中央区が1万3154人、北区が1万2840人、東淀川区が1万1895人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の2608人となっている。

転出率では、浪速区が140.0%と最も高く、次いで中央区が126.8%、西区が99.6%、北区が92.1%と続いている。転出率でも、大正区が42.0%と最も低くなっている。

## ウ その他増減

令和3年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、2065人減となった。

その他増減数を区別にみると、西成区で573人減と最も少なくなっている。

## エ 外国人の社会動態

令和3年の社会動態のうち、外国人は1311人の減少となった。

外国人の転入及び入国数は3万1953人となっており、転出及び出国数は3万185人で、令和2年と比べるといずれも減少となっている。

表6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5	…	…
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6	…	…
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1	…	…
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4	…	…
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3	…	…
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	…
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118
令和元年	24,049	3,920	8.8	211,083	12,080	77.4	184,095	8,438	67.5	△ 2,939	278
2年	20,207	△ 3,842	7.4	206,128	△ 4,955	75.2	183,567	△ 528	67.0	△ 2,354	585
<b>3年</b>	<b>10,609</b>	<b>△ 9,598</b>	<b>3.9</b>	<b>199,117</b>	<b>△ 7,011</b>	<b>72.3</b>	<b>186,443</b>	<b>2,876</b>	<b>67.7</b>	<b>△ 2,065</b>	<b>289</b>

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 区別社会動態

区名	社会 増減数 (人)	社会 増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他 増減数 (人)
大阪市	10,609	3.9	199,117	72.3	186,443	67.7	△ 2,065
北区	1,142	8.2	14,181	101.7	12,840	92.1	△ 199
都島区	336	3.1	7,173	66.5	6,819	63.2	△ 18
福島区	334	4.2	6,549	82.6	6,184	78.0	△ 31
此花区	△ 72	△ 1.1	3,358	51.5	3,327	51.0	△ 103
中央区	2,909	28.0	16,170	155.9	13,154	126.8	△ 107
西区	771	7.3	11,338	107.1	10,546	99.6	△ 21
港区	△ 429	△ 5.3	4,296	53.1	4,698	58.0	△ 27
大正区	△ 185	△ 3.0	2,446	39.4	2,608	42.0	△ 23
天王寺区	828	10.1	6,937	84.4	6,081	74.0	△ 28
浪速区	1,519	20.1	12,153	161.0	10,574	140.0	△ 60
西淀川区	81	0.8	5,585	58.3	5,383	56.2	△ 121
淀川区	314	1.7	14,476	78.9	14,057	76.6	△ 105
東淀川区	△ 193	△ 1.1	11,940	67.4	11,895	67.2	△ 238
東成区	659	7.8	7,827	92.2	7,097	83.6	△ 71
生野区	487	3.8	9,153	71.9	8,606	67.6	△ 60
旭東区	258	2.9	5,035	56.2	4,731	52.8	△ 46
城東区	199	1.2	9,694	57.3	9,490	56.1	△ 5
鶴見区	△ 308	△ 2.7	4,935	43.8	5,258	46.7	15
阿倍野区	638	5.7	7,104	64.0	6,363	57.3	△ 103
住之江区	△ 407	△ 3.4	5,103	42.5	5,501	45.8	△ 9
住吉区	209	1.4	8,408	54.9	8,191	53.5	△ 8
東住吉区	389	3.0	7,431	58.1	6,931	54.2	△ 111
平野区	△ 656	△ 3.4	8,677	45.2	9,320	48.5	△ 13
西成区	1,786	16.8	9,148	86.2	6,789	64.0	△ 573

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は% (パーミル) である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	中央区	28.0	浪速区	161.0	浪速区	140.0
2	浪速区	20.1	中央区	155.9	中央区	126.8
3	西成区	16.8	西区	107.1	西区	99.6
4	天王寺区	10.1	北区	101.7	北区	92.1
5	北区	8.2	東成区	92.2	東成区	83.6
6	東成区	7.8	西成区	86.2	福島区	78.0
7	西区	7.3	天王寺区	84.4	淀川区	76.6

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は% (パーミル) である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減		転入+入国		転出+出国		その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)	実数 (人)	対前年 (人)
平成23年	1,003	△ 342	21,205	885	20,202	1,227	...	...
24年	2,313	1,310	20,793	△ 412	18,480	△ 1,722	...	...
25年	2,617	304	20,889	96	18,272	△ 208	...	...
26年	861	△ 1,756	22,206	1,317	21,345	3,073	...	...
27年	6,438	5,577	25,517	3,311	19,079	△ 2,266	...	...
平成28年	5,095	△ 1,343	30,001	4,484	20,931	1,852	△ 3,975	...
平成29年	5,947	852	33,701	3,700	23,516	2,585	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	37,208	3,507	27,150	3,634	△ 3,573	665
令和元年	7,611	1,126	42,917	5,709	31,803	4,653	△ 3,503	70
2年	△ 1,631	△ 9,242	32,848	△ 10,069	31,087	△ 716	△ 3,392	111
<b>3年</b>	<b>△ 1,311</b>	<b>320</b>	<b>31,953</b>	<b>△ 895</b>	<b>30,185</b>	<b>△ 902</b>	<b>△ 3,079</b>	<b>313</b>

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

## 7 年齢別人口

### (1) 年齢(3区分)別人口

令和3年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.5%、15～64歳人口(生産年齢人口)は63.9%、65歳以上人口(老年人口)は25.6%となっており、15～64歳人口の割合が、令和2年(63.7%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別推計人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち 75歳以上
平成28年	2,702,316	295,423	1,721,169	685,724	334,086	100.0	10.9	63.7	25.4	12.4
29年	2,713,725	294,372	1,728,917	690,436	344,371	100.0	10.8	63.7	25.4	12.7
30年	2,725,855	293,281	1,736,951	695,623	354,860	100.0	10.8	63.7	25.5	13.1
令和元年	2,741,336	292,460	1,746,987	701,889	365,870	100.0	10.7	63.7	25.6	13.3
2年	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489	376,454	100.0	10.6	63.7	25.7	13.7
3年	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054	380,889	100.0	10.5	63.9	25.6	13.8

- 1 平成28年から令和元年は、年齢「不詳」を各歳に案分した平成27年国勢調査結果をもとに作成した各年10月1日の推計人口。
- 2 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。
- 3 令和3年は2をもとに作成した10月1日現在推計人口。

### (2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢(3区分)別人口を令和2年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは中央区の371人で、最も減少が大きいのは平野区の554人減となった。生産年齢人口では、中央区の2700人が最も多く、最も減少が大きかったのは平野区の1037人減であった。老年人口では、中央区の207人が最も多く、最も減少が大きかったのは西成区の832人であった。

表7-2 区別の年齢(3区分)別人口

区名	令和3年				令和2年からの増減数			令和2年			
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大 阪 市	2,750,835	288,166	1,757,615	705,054	△ 2,873	3,731	△ 2,435	2,752,412	291,039	1,753,884	707,489
北 区	140,706	13,172	102,050	25,484		239	949	139,376	12,933	101,101	25,342
都 島 区	107,838	11,647	69,439	26,752	△ 208		29	107,904	11,855	69,410	26,639
福 島 区	79,844	9,695	55,004	15,144		15	464	79,328	9,680	54,540	15,108
此 花 区	64,764	7,207	39,283	18,274	△ 161	△ 175	△ 151	65,251	7,368	39,458	18,425
中 央 区	107,004	10,012	80,730	16,262	371	2,700	207	103,726	9,641	78,030	16,055
西 区	106,917	12,116	78,483	16,317	△ 16		942	105,862	12,132	77,541	16,189
港 区	79,978	8,008	49,625	22,345	△ 277	△ 494	△ 199	80,948	8,285	50,119	22,544
大 正 区	61,356	6,083	35,401	19,872	△ 216	△ 352	△ 159	62,083	6,299	35,753	20,031
天 王 寺 区	83,087	11,187	55,585	16,315		113	666	82,148	11,074	54,919	16,155
浪 速 区	76,863	5,116	57,867	13,880	△ 99	1,392	66	75,504	5,215	56,475	13,814
西 淀 川 区	95,572	10,568	60,032	24,972	△ 276	△ 162	146	95,864	10,844	60,194	24,826
淀 川 区	183,450	17,765	123,953	41,732	△ 183	193	△ 4	183,444	17,948	123,760	41,736
東 淀 川 区	176,039	16,358	115,471	44,209	△ 356	△ 545	△ 181	177,120	16,714	116,016	44,390
東 成 区	85,175	8,500	55,126	21,549	△ 74	548	△ 205	84,906	8,574	54,578	21,754
生 野 区	126,664	11,097	75,416	40,151	△ 11	△ 276	△ 358	127,309	11,108	75,692	40,509
旭 区	89,208	9,253	53,139	26,816	△ 46	△ 131	△ 285	89,670	9,299	53,270	27,101
城 東 区	168,762	20,123	105,401	43,237	△ 238	29	△ 73	169,043	20,361	105,372	43,310
鶴 見 区	112,219	16,159	70,075	25,985	△ 385	△ 46	△ 41	112,691	16,544	70,121	26,026
阿 倍 野 区	111,296	14,199	68,336	28,761		134	193	110,995	14,065	68,143	28,787
住 之 江 区	118,732	12,173	68,988	37,571	△ 366	△ 984	10	120,072	12,539	69,972	37,561
住 吉 区	152,472	16,352	92,202	43,917	△ 111	△ 278	△ 196	153,056	16,463	92,480	44,113
東 住 吉 区	127,277	14,045	75,607	37,626	△ 58	△ 174	△ 339	127,849	14,103	75,781	37,965
平 野 区	190,166	20,514	113,737	55,914	△ 554	△ 1,037	△ 396	192,152	21,068	114,774	56,310
西 成 区	105,446	6,816	56,663	41,967	△ 111	278	△ 832	106,111	6,927	56,385	42,799

- 1 令和2年は年齢「不詳」を補完している国勢調査結果。
- 2 令和3年は2をもとに作成した10月1日現在推計人口。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が14.4%と最も高く、次いで天王寺区が13.5%、阿倍野区が12.8%と続く。最も低いのは西成区の6.5%となっている。

生産年齢人口では中央区が75.4%と最も高く、次いで浪速区が75.3%と続く。最も低いのは西成区の53.7%となっている。

老年人口では西成区が39.8%と最も高く、次いで大正区が32.4%と続く。最も低いのは中央区の15.2%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	（%）											
	令和3年			令和2年からの変化			令和2年			（ポイント）		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
大阪市	100.0	10.5	63.9	25.6	△ 0.10	0.17	△ 0.07	100.0	10.6	63.7	25.7	
北区	100.0	9.4	72.5	18.1	0.08	△ 0.01	△ 0.07	100.0	9.3	72.5	18.2	
都島区	100.0	10.8	64.4	24.8	△ 0.19	0.07	0.12	100.0	11.0	64.3	24.7	
福島区	100.0	12.1	68.9	19.0	△ 0.06	0.14	△ 0.08	100.0	12.2	68.8	19.0	
此花区	100.0	11.1	60.7	28.2	△ 0.16	0.18	△ 0.02	100.0	11.3	60.5	28.2	
中央区	100.0	9.4	75.4	15.2	0.06	0.22	△ 0.28	100.0	9.3	75.2	15.5	
西区	100.0	11.3	73.4	15.3	△ 0.13	0.16	△ 0.03	100.0	11.5	73.2	15.3	
港区	100.0	10.0	62.0	27.9	△ 0.22	0.13	0.09	100.0	10.2	61.9	27.8	
大正区	100.0	9.9	57.7	32.4	△ 0.23	0.11	0.12	100.0	10.1	57.6	32.3	
天王寺区	100.0	13.5	66.9	19.6	△ 0.02	0.05	△ 0.03	100.0	13.5	66.9	19.7	
浪速区	100.0	6.7	75.3	18.1	△ 0.25	0.49	△ 0.24	100.0	6.9	74.8	18.3	
西淀川区	100.0	11.1	62.8	26.1	△ 0.25	0.02	0.23	100.0	11.3	62.8	25.9	
淀川区	100.0	9.7	67.6	22.7	△ 0.10	0.10	△ 0.00	100.0	9.8	67.5	22.8	
東淀川区	100.0	9.3	65.6	25.1	△ 0.14	0.09	0.05	100.0	9.4	65.5	25.1	
東成区	100.0	10.0	64.7	25.3	△ 0.12	0.44	△ 0.32	100.0	10.1	64.3	25.6	
生野区	100.0	8.8	59.5	31.7	0.04	0.08	△ 0.12	100.0	8.7	59.5	31.8	
旭区	100.0	10.4	59.6	30.1	0.00	0.16	△ 0.16	100.0	10.4	59.4	30.2	
城東区	100.0	11.9	62.5	25.6	△ 0.12	0.12	△ 0.00	100.0	12.0	62.3	25.6	
鶴見区	100.0	14.4	62.4	23.2	△ 0.28	0.22	0.06	100.0	14.7	62.2	23.1	
阿倍野区	100.0	12.8	61.4	25.8	0.09	0.01	△ 0.09	100.0	12.7	61.4	25.9	
住之江区	100.0	10.3	58.1	31.6	△ 0.19	△ 0.17	0.36	100.0	10.4	58.3	31.3	
住吉区	100.0	10.7	60.5	28.8	△ 0.03	0.05	△ 0.02	100.0	10.8	60.4	28.8	
東住吉区	100.0	11.0	59.4	29.6	0.00	0.13	△ 0.13	100.0	11.0	59.3	29.7	
平野区	100.0	10.8	59.8	29.4	△ 0.18	0.08	0.10	100.0	11.0	59.7	29.3	
西成区	100.0	6.5	53.7	39.8	△ 0.06	0.60	△ 0.53	100.0	6.5	53.1	40.3	

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合（%）	区名	割合（%）	区名	割合（%）
1	鶴見区	14.4	中央区	75.4	西成区	39.8
2	天王寺区	13.5	浪速区	75.3	大正区	32.4
3	阿倍野区	12.8	西区	73.4	生野区	31.7
4	福島区	12.1	北区	72.5	住之江区	31.6
5	城東区	11.9	福島区	68.9	旭区	30.1
6	西区	11.3	淀川区	67.6	東住吉区	29.6
7	此花区	11.1	天王寺区	66.9	平野区	29.4

令和3年10月1日現在の人口に対する割合である。

表 7-5 年齢（3区分）別人口割合の変化（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）
1	阿倍野区	0.09	西成区	0.60	住之江区	0.36
2	北区	0.08	浪速区	0.49	西淀川区	0.23
3	中央区	0.06	東成区	0.44	大正区	0.12
4	生野区	0.04	鶴見区	0.22	都島区	0.12
5	東住吉区	0.00	中央区	0.22	平野区	0.10
6	旭区	0.00	此花区	0.18	港区	0.09
7	天王寺区	-0.02	旭区	0.16	鶴見区	0.06

令和2年10月1日現在の人口割合に対する令和3年10月1日現在における人口割合の変化である。

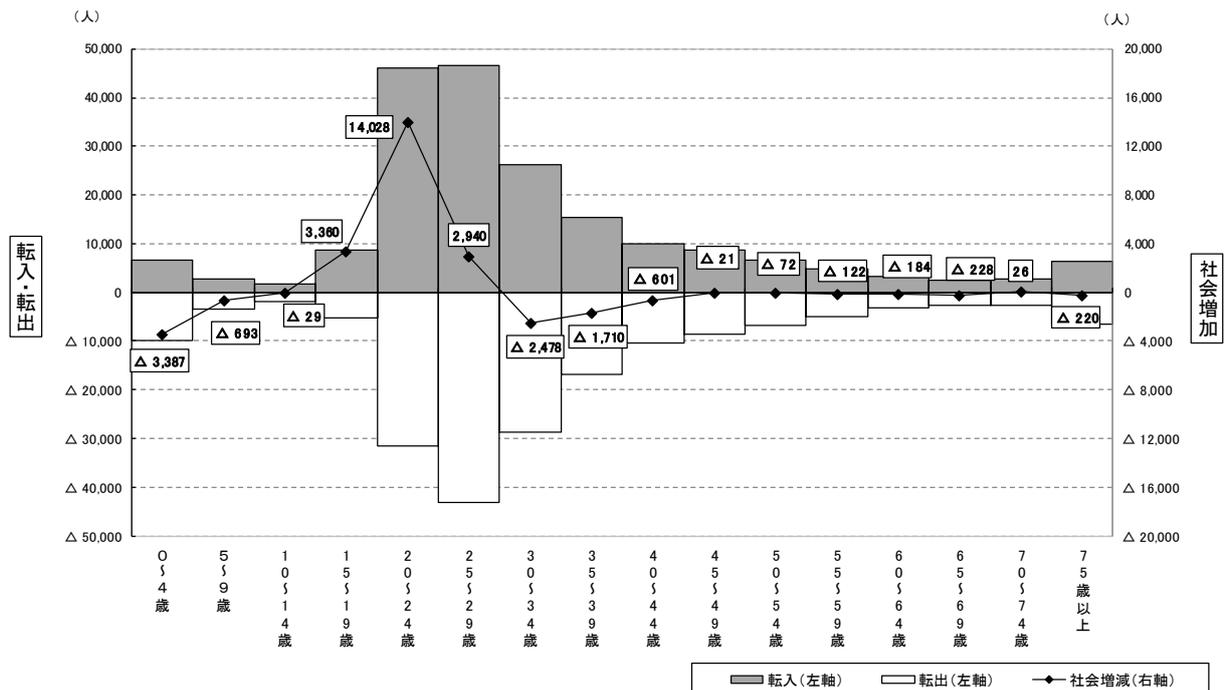
(3) 年齢（5歳階級）別社会動態

令和3年の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの各階級で大きな増加となっており、特に「20～24歳」では1万4028人となっている。これに対して、30歳から39歳及び0歳から9歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）では減少となっている。

表 7-6 年齢（5歳階級）別転入、転出、その他増減及び社会増減数

	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	6,651	2,876	1,809	8,723	46,090	46,483	26,340	15,314
転出	9,959	3,532	1,819	5,353	31,583	43,075	28,576	16,863
その他増減	△ 79	△ 37	△ 19	△ 10	△ 479	△ 468	△ 242	△ 161
社会増減	△ 3,387	△ 693	△ 29	3,360	14,028	2,940	△ 2,478	△ 1,710
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入	9,983	8,618	6,733	4,801	3,181	2,555	2,709	6,251
転出	10,489	8,570	6,740	4,853	3,293	2,701	2,640	6,397
その他増減	△ 95	△ 69	△ 65	△ 70	△ 72	△ 82	△ 43	△ 74
社会増減	△ 601	△ 21	△ 72	△ 122	△ 184	△ 228	26	△ 220

図 4 年齢（5歳階級）別社会動態



#### (4) 区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、(3)で増加と述べた15歳から29歳までの各階級合計を区別で見ると中央区が2836人と最も多く、次いで浪速区が2439人、北区が2143人、淀川区が2060人と続いている。(3)で減少と述べた30歳から39歳までの各階級合計を区別で見ると東淀川区が845人減と最も減少が大きく、次いで淀川区が804人減、浪速区が472人減、北区が378人減、平野区が353人減と続いている。

表7-7 区別の年齢（5歳階級）別社会増減数

区名	(人)							
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
大阪市	△ 3,387	△ 693	△ 29	3,360	14,028	2,940	△ 2,478	△ 1,710
北区	△ 390	△ 39	8	230	1,364	549	△ 171	△ 207
都島区	△ 128	△ 22	△ 5	79	538	105	△ 70	△ 23
福島区	△ 191	△ 33	△ 33	32	770	318	△ 174	△ 88
此花区	△ 37	△ 35	4	80	23	37	△ 11	△ 10
中央区	△ 235	△ 1	39	236	1,844	756	18	10
西区	△ 308	△ 59	△ 22	132	1,382	321	△ 175	△ 169
港区	△ 111	△ 40	△ 17	38	292	△ 85	△ 233	△ 70
大正区	△ 31	△ 22	2	△ 9	95	15	△ 44	△ 63
天王寺区	13	17	20	75	303	174	153	88
浪速区	△ 294	△ 97	△ 22	355	1,756	328	△ 189	△ 283
西淀川区	△ 89	△ 22	10	121	260	△ 92	△ 102	△ 10
淀川区	△ 419	△ 74	5	320	1,678	62	△ 532	△ 272
東淀川区	△ 328	△ 90	△ 11	333	1,219	△ 185	△ 513	△ 332
東成区	△ 90	△ 22	△ 18	98	790	190	△ 112	△ 64
生野区	△ 109	3	2	388	422	△ 36	△ 196	△ 5
旭区	△ 32	7	1	77	164	135	△ 35	△ 52
城東区	△ 167	△ 8	2	91	283	194	△ 20	0
鶴見区	△ 172	△ 92	△ 13	△ 37	△ 14	166	△ 8	△ 87
阿倍野区	82	82	22	130	69	66	166	95
住之江区	△ 42	△ 52	△ 7	5	△ 100	△ 102	△ 86	△ 55
住吉区	△ 84	△ 18	1	82	300	75	△ 26	△ 36
東住吉区	△ 36	△ 29	27	90	214	△ 81	△ 54	31
平野区	△ 187	△ 54	△ 22	126	△ 130	△ 84	△ 158	△ 195
西成区	△ 2	7	△ 2	288	506	114	94	87
区名	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
大阪市	△ 601	△ 21	△ 72	△ 122	△ 184	△ 228	26	△ 220
北区	△ 97	32	△ 34	39	△ 32	△ 17	△ 31	△ 62
都島区	△ 68	△ 27	13	△ 13	△ 12	△ 18	△ 7	△ 6
福島区	△ 104	△ 44	△ 7	△ 33	△ 27	△ 20	1	△ 33
此花区	△ 31	10	△ 5	0	△ 14	△ 34	△ 7	△ 42
中央区	94	126	56	42	△ 15	0	△ 12	△ 49
西区	△ 135	△ 37	△ 15	△ 40	△ 15	△ 38	△ 25	△ 26
港区	△ 47	5	△ 37	△ 15	△ 17	△ 6	△ 36	△ 50
大正区	△ 6	△ 11	△ 6	△ 12	△ 14	△ 36	△ 5	△ 38
天王寺区	21	43	9	△ 23	△ 12	△ 11	△ 10	△ 32
浪速区	△ 18	△ 31	△ 10	△ 20	△ 14	20	△ 1	39
西淀川区	5	△ 35	△ 23	△ 27	△ 3	△ 15	15	88
淀川区	△ 152	△ 13	△ 4	△ 26	△ 54	△ 62	△ 46	△ 97
東淀川区	△ 99	△ 41	△ 45	△ 53	△ 57	△ 8	23	△ 6
東成区	△ 29	33	△ 23	△ 1	8	△ 32	△ 31	△ 38
生野区	△ 14	3	△ 17	△ 7	△ 20	△ 8	6	75
旭区	16	31	3	△ 10	△ 7	0	10	△ 50
城東区	△ 15	△ 108	△ 27	△ 15	30	△ 14	△ 2	△ 25
鶴見区	△ 27	△ 29	△ 23	4	0	△ 10	39	△ 5
阿倍野区	61	8	△ 6	△ 12	△ 30	△ 22	△ 11	△ 62
住之江区	5	19	△ 29	18	△ 19	△ 23	28	33
住吉区	△ 35	△ 17	23	△ 31	△ 1	13	6	△ 43
東住吉区	51	11	50	14	39	5	△ 28	85
平野区	△ 37	△ 33	△ 38	15	1	5	57	78
西成区	60	84	123	84	101	103	93	46